１．開催年月日　令和５年１月書面開催

新型コロナ感染症の感染者数が年明けに、増加傾向にあったため書面開催とした。

2.　出席委員

委員総数　　６名

レポート提出数　５名　　下川隆委員長　山本恒安委員　小松真弓委員

伊藤理香委員　鈴木悟委員

レポート未提出　１名　　賀陽智之委員

放送事業者側回答者

青木崇（番組ディレクター）

４．議　題

「耳からゲッコー」（番組提供：合同会社　月虹）

毎週土曜日　23 時～23 時 30 分放送

５．議事の概要

あらかじめ送付した番組を録音した CD を聴いていただきレポート提出。

６．審議内容

（下川委員長）声優お二人ということで滑舌はよかったが、冒頭、トークが被せあっていたのが聴きにくかった。朗読はゆっくり聴けてよかった。

（鈴木委員）番組名が奇抜で聴くまでどんな放送がわくわくした。声優のお二人ということで、話題も多く、多方面のリスナーが楽しめる内容だと思った。深夜枠なのがもったいないと感じる良い番組。

（山本委員）「今週の特選」の後、間が少し空いた感じがしたので、再生がストップしたかと思った。「今週の馬ちゃん」は内容が具体的で、一つの番組として成立するのではと思った。

（伊藤委員）深夜のサブカルということで、日中の番組と比較してちょっとナビゲーションの

テンションが違うなと感じた。女性声優のやり取りがキャピキャピしており、私には合わないと感じた。しかしながら、アニメ好きにはたまらない会話のやり取りなのかなとは、想像できるのでターゲットにはまって作られている番組だと思った。

（小松委員）声優のお二人なので、会話のテンポが早いですが、滑舌・発音・鼻濁音が素晴らしく聴きやすかった。好き嫌いはあるかもしれませんが、とても楽しい30分だった。年齢に関係なく利用者目線での情報を提供してくれるのは、うれしく聞いていて二人を「近く」感じた。

コミュニティFM放送局にはいろいろなリスナーをターゲットにした番組を自由に作ることが出来る「利点」があると思うので、「二人の感覚」をこれからも大切にし、二人の世界観から情報を得たいと思える人たち（リスナー）のためにどんどんサブカルチャー情報を届けてください。

(局の回答)

当番組は、地上波アニメを数多く制作している合同会社月虹のプロデューサーにご依頼いただき、毎週火曜日20時～「まちテナ西東京」スタジオで公開録音を行い、毎週土曜日23時～放送をしています。現役で活動中の女性声優がありのままの雰囲気でトークを繰り広げることにより親しみを感じていただけるように、演出しております。

各コーナーについて、温かいお言葉を頂き、ありがとうございます。内容については、かなりディープな内容に振り切っており、初めて聴いた方には驚かれることもあるかもしれません。これからもサブカルチャーを発信する、特色のあるプログラムとしてより良い番組作りをしていきたいです。

７．審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

８．審議機関の答申または意見の概要の公表

自社放送　事務所への備え置き、自社 HP での掲載

9．その他の参考事項

なし